



森ボラ 通信

NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆2024年度 第7回 (最終回) 親子森林教室活動報告

3月9日今年度の親子森林教室の最終回が行われ森しり隊員10名保護者8名森ボラ協会員11名の計29名が参加しました。降雪の予報がありましたが、活動中は暖かい日差しの中、気持ちよく課題をこなせました。3日前の準備日に雪掻きをしましたが、その後新雪がしっかりと積もっており、隊員の来場前に協会員が雪掻きに汗を流しましたが、快汗でした。今回のテーマは「森の春の目覚めを感じ1年間のまとめをする」ですが凶らずも雪掻きで感じてしまいました。

今日の課題は①樹液の採取②冬芽の観察③終了式です。まず松藤事務局長から今日の日程の説明と樞棒代表の挨拶があり、ラジオ体操の後、スノーシューを付け3班に分かれ樹液採取地へ出発。春の雪は締まっておりスノーシューを履けばどこも歩行自由自在、隊員は新雪の上を歩き回っていました。対象樹木はイタヤカエデ。集合広場からほど近いところに予め選定してある各班2本合計6本のイタヤカエデから採取しました。班長から作業手順の説明を受け、手際よく採取装置を取り付けることができました。その他、樹液の説明として何故いまの時期だけに採取できるのか、又甘い樹液は他にシラカンバからも採れること等の説明がありました。

次は冬芽の観察です。西野澄子さんが用意したシナノキ、ホオノキ、ミズナラの冬芽の実物と写真を使って説明。冬芽は前年の夏からその為の準備を始めていること等興味深い話がなされました。さてこの後は集合場所に戻り終了式をやるだけ。戻るルートは林道を使わず小さな山を越えてまっすぐ

に戻るルート。よーいドンで隊員は一斉に坂を駆け上がる。

その早いこと！戻った後、樞棒代表が用意した樹液とそれを家で煮詰めたメープルシロップが振舞われ、乾いた喉を潤しました。

終了式に入り、前もって隊員と保護者をお願いしていた、1年間の活動の感想文の一部が発表されました。色々な思い出、感謝の言葉、これからの抱負等が語られこの経験が彼らの成長に



全員でラジオ体操



樹液採取、ドリルで穴開け



冬芽の観察



メープルシロップ試飲

少くない影響を与えるのではと報われた気持ちが湧きました。

最後はホオノキのプレートを使った終了証盾が隊員一人一人に手渡され、記念写真を撮りました。これで終了式も完了、解散しました。しかしこの後、番外編のオマケ、フロック。前第6回でやる筈だったが積雪量が足りなく中止となった雪の尻滑り。その後の降雪で可能となり、しっかり準備したコースは雪も締まっており良く滑る。隊員だけでなく保護者、協会員も交え嬌声が拡がりました。（文・高橋）

◆第3回冬季セミナー報告

2月14日今年度3回目の冬季セミナーが札幌エルプラザで開催されました。参加者は外部一般参加の2名を含め合計21名。前半は会員による報告「モニタリング調査から」と「2024年度水質調査報告」後半は外部講師西埜氏による講演「馬搬による林業について」でした。開講前にNHKのカメラ班数名が機材を持って入室しており、何事かと思いましたが進行の松藤さんより説明があり、講師西埜さんの取材の為との由。今春5月頃放映する「北海道道」に使うかもと。決してカメラに向かいピースサインなどせぬようにと釘を刺されました。さて前半の「モニタリング調査から」は



榎棒代表幹事からの報告。当協会が活動している澄川環境林では、森全体の成長度合いを把握する為、標準地9ヶ所を設け継続的（基本は5年ごと、区域により毎年）に測定記録し12年経過している。望ましい林分密度を目指し除伐しその後どういふ変化を辿っているかを検証。2025年1月の標準地の測定結果はha当たり、本数983本、材積229.9m³。これから澄川全体の森を推定すると本数69,700本、材積16,300m³とのことです。森林ボランティアという植林して終わりか、育林に関わっても草刈り除伐して汗流して気持ち良いで終わり（正に私のこと）ですが、樹木の成長を動的に数字を使って把握すると森林も又違った顔を見せてくれるようです。次に本郷さんからの「2024年度水質調査報告」。

私は調査作業に加わったことが無く、報告を聞くのも初めてでした。今回調査は7年目。調査時期は5月、7月、9月の3回、地点は上流、中流（キャリコ橋）、下流（紅桜公園）の3地点。調査項目は水温、流量、ph濃度等化学的測定、水生生物等で8項目。報告の後の質疑応答は水生生物に関するものが多く、この調査に協力を頂いている建設環境研究所の酒巻さんにも応答を頂きました。「乱舞する多くのホテルを見たい」のが皆の願い。監視カメラを設置してはどうかとの提案もありました。休憩を挿んで後半開始。昨年11月に実施した研修旅行で訪問した厚真町の西埜馬搬の西埜さんを招いての講演。西埜さんは44歳ですが生い立ち、馬搬との出会い、厚真での起業（9年目）から現在までの経過、馬搬の魅力と可能性等について語って頂きました。厚真での現場視察では馬の力に驚きましたが、今回講演ではヨーロッパでの馬搬視察をスライドで見せて頂き、彼の地では林業における馬の利用が一般的であることに驚きました。講演中NHKのカメラ班が動き回り盛んにカメラを回していました。さて5月、どんな映像が見れるやら楽しみです。（文・高橋）



◆なぜシマエナガは北海道だけにいる？(生息地とその理由)

お茶目なシマエナガ、森ボラホームページの澄川「自然レポート・鳥」に掲載の41・エナガ/高野リポート・2014年4月15日付、が報告されている。実に、11年ぶりにシマエナガを捉えることができた。

北海道全域での生息が確認されているものの、本州では見られないシマエナガ。なぜ北海道だけにいるのか、その理由はブラキストン線にあると考えられています。ブラキストン線とは、北海道と青森の間の津軽海峡に引かれている陸上動物の分布境界線。このラインの北と南で、動物の種類や見た目の違いが生まれることがあります。シマエナガの祖先も北海道にわたり、そこで北海道の環境に適合するかたちで進化したのかもしれない。



撮影日：2025/02/26・11:50・ヤマガラと共に
撮影場所：札幌市澄川都市環境林内・森ボラ朝の集会場所
(OLYMPUS E410・f/9・150mm)

ふだんは広葉樹や針葉樹が入り混じった森林で暮らすシマエナガ。12月～2月、この時期は、札幌市内でもシマエナガを見られるチャンスもあります。森から市内へやって来る理由は、大好物の樹液を食べるため。街路樹や公園の木の樹液を求めて、都市部に舞い降りるのです。



シマエナガは、スズメの仲間で、雪の妖精とも呼ばれています。特徴は、真っ白な顔と丸い体つき、ふわふわとした白い羽毛、長い尾羽などです。スズメより少し小さな体で、真っ白な毛で覆われています。尾羽のことを「柄(え)」といい、エナガは尾が長いという意味があるようです。「シマ」は「島」と

書き、北海道をあらわしているとのこと。漢字で書くと「島柄長」となるようで、北海道でしか見られない一種なんですね。アイヌ語名は「雪の鳥」といいます。雪玉を思わせる白くて丸みのある体つきに由来するのでしょうか。

シマエナガはスズメ目エナガ科の「エナガ」という鳥の亜種なのですが、北海道では全域に生息しているため、街の中で見かけることもあると言う。シマエナガは「チーチー」や「ジュリリ」などといった感じの鳴き声で鳴き、アクロバットショーが開催されているようで、体が小さくすばしっこいので森の中で見つけることはなかなか難しいのです。写真・文/西野(悌)

■ 澄川の自然 67

ミズナラ(ブナ科) パートII

写真は前回の冬芽がベランダで陽光を受け、芽生えたものです。しっかりコーティングされた様に堅かったのに柔らかくみずみずしい緑の葉が出て来ました。今シーズンの第1回のセミナーは、森林総研・尾崎研一先生の「ナラ枯れの北海道への侵入と今後の防除への提言」というお話でした。北海道でミズナラを枯死させる「ナラ枯れ」は2022年頃には被害木が発見されています。ナラ枯れはカシノナガキクイムシ(以下カシナガ)という害虫が、ナラ類を枯死させる病原菌(通称・ナラ菌)を媒介することで起きる。カシナガが樹木の幹に多数穿入すると、ナラ菌の働きで通水障害が起こり、樹木が枯死する。現在ナラ枯れは渡島半島南部に限定されており、予想では10年後でも被害の拡大は北海道の一部に限られるとされる。気温上昇が年々高くなっている今、ナラ枯れの拡大が心配される、というお話でした。(写真・文/西野(澄))



■今月の幹事会

出席者(3/5): 荻田・樫棒・大窪・加藤・松藤・西野(澄)・平・老田・丸尾・矢野・早坂

1. 2025年4月、5月活動スケジュール(4月幹事会4/9水):了承
2. 2024年度2月会計報告:了承
3. 2025年度里山林活性化多面交付金申請報告:A1~A3、E2区、面積10.2ha申請。了承
4. 2025年親子森林教室:参加者は12家族、14名。継続は2家族3名、その他は新規。了承
5. 活動交通費の支給基準改定:交通機関の利用にかかわらず車両移動とみなして交通費を支払う。事務手続きの簡素化。了承
6. 2025年度組織体制:幹事に葛西さんお願いする。了承
7. 物品購入時の注意事項:
8. 現場報告
 - ・整理伐状況:3月1日までのE8区整理伐進捗状況は80%。3月末まで進める。了承
9. その他
 - ・澄川南小ゴミ捨て防止ポスター:4カ所の内2カ所入れ替え予定。原画は完成。
 - ・森ボラホームページ進捗報告:2月の訪問数1,722件。了承
 - ・北海道山林種苗組合青年部苗木提供。富良野・幕別・美瑛・長沼の事業者に630本希望。了承
 - ・屋外スピーカー購入:既存の機器破損、出力増予定。了承
 - ・購入物品の個人宅送付:事務局が不在時の受渡に支障が出ている。了承

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
2月17日(月)	澄川	13	E8整理伐・集材、多面事業用写真撮影
2月20日(木)	澄川	12	F地区観察会
2月20日(木)	事務所	6	親子森林教室打合せ
2月23日(日)	澄川	11	E8整理伐・集材、樹液採取装置セット
2月26日(水)	澄川	12	(株)じょうてつCSR(樹液採取、整理伐) E8整理伐・集材、樹液採取
3月1日(土)	澄川	11	E8整理伐・集材、樹液採取
3月5日(水)	ラルズビル地下1階 会議室	11	幹事会
3月6日(木)	澄川	11	E8整理伐・集材、親子森林教室準備。樹液採取
3月9日(日)	澄川	10	第7回親子森林教室(樹液採取、冬芽観察、修了式)
3月12日(水)	澄川	10	E8整理伐・集材、樹液採取装置回収
3月13日(木)	札幌エルプラザ2F 環境研修室1,2	20	第4回冬季セミナー 会員例会:「2025年度活動計画」松藤事務局長 講演:「植物のあれこれ」 (株)エコテク地域環境センター 小嶋照男氏